

多彩な催し、地域と共に展開

倉敷木材 暮らしと木のフェア

住宅資材販売、住宅建築、木製家具販売を行う倉敷木材（岡山県倉敷市、大久保製作社長）は恒例の県下最大の木のイベント「暮らしと木のフェア」を17、18の2日間、同社で開催した。今年には同社創業100周年を迎えるなど、多彩な催しを開き、地元の家連れなど多くの人で賑わった。

角材・丸太・一枚板「天然木ほか一枚板に売キャンペーンをはじめ銘木、木のおも（者）人気がある」（関係者）という。

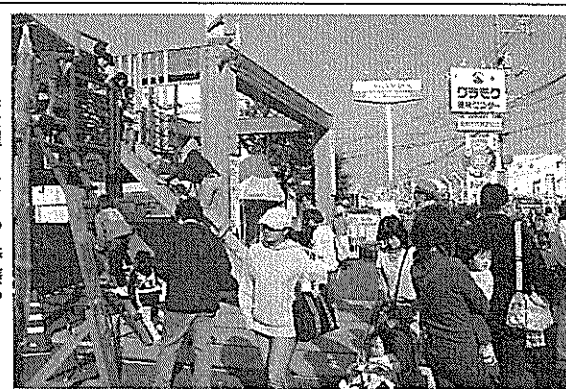
住宅では今年春からスタートしたムクの床を使ったセミオーダーシステムの注文住宅「MUKUの家」の販

め生産性、効率のアツプに向けて県産材をふんだんに使用した安心・安全の基本ベースは

変わらぬものの、同社のこれまでの実績を元に壁・フローアー・タイルなど顧客の求める素材、機能、施工をメニュー形でセレクトしてもら

「10年前から地域のまい相談を行った。人々に喜んでもらうためにスタートした展示会は毎年3000人の来場者がある。当社だけでなく木のフリーマーケットなど地域の協力を得て広がりを見せている」（大久保社長）と話した。

なお、来年春に木のシヨールーム「暮らしほ岡山店」を岡山市間屋町に開設する。内外材の板類やテーブル等を展示。レゴ教室「クレア・クラ」も同時オープンする。



多彩な催しに多くの人で賑わう

同社はこれまでフルオーダーで手掛けてきたがユーザーの要望は年々細かくなり、建築に至るまで時間が掛かり過ぎていた。このた

ツドデッキ